

結んだ水戸線で東北本線に乗り入れて京浜地帯へ常磐炭を運んだ。

磐城線が全線開通しても当初はスイッチバックしなければならない不便な田端駅を經由にしたのは、常磐地方からの石炭を積んだ貨物列車が、直接東海道本線に入り、京浜工業帯に動力源としての石炭を供給することを目論んだ。



(関東大震災で焼失し、二代目 上野駅 昭和初期)

常磐線は日暮里～岩沼間

東北本線は上野～日暮里間 岩沼～仙台間となる。

最初は田端經由で、後に日暮里から三河島經由となったため、狭い家屋密集地を縫うようにして大きくカブしながら三河島駅に達し、そこからは高架線になっている。